



2022年8月10日

各位

会社名 ラサ工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 坂尾 耕作
 (コード番号 4022)
 問合せ先責任者 代表取締役常務経理部長 望月 哲夫
 (TEL 03-3258-1835)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期第2四半期累計期間及び通期の業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,000	1,700	1,700	1,200	151.25
今回修正予想 (B)	25,900	2,500	2,600	1,800	227.69
増減額 (B-A)	4,900	800	900	600	
増減率 (%)	23.3	47.1	52.9	50.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	16,110	1,516	1,549	1,076	135.80

(2) 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,700	3,600	3,600	2,600	327.71
今回修正予想 (B)	52,600	4,500	4,600	3,200	404.78
増減額 (B-A)	9,900	900	1,000	600	
増減率 (%)	23.2	25.0	27.8	23.1	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	35,411	3,475	3,562	2,538	320.15

(3) 修正の理由

(第2四半期累計期間)

第2四半期累計期間の業績は、化成品事業において、引き続き半導体向け高純度燐酸は国内外共に順調に推移すると見込んでおります。また凝集剤の一部製品の市況の上昇もあり、予想より好調な販売が続く見込みであります。機械事業においては、下水道関連の掘進機は概ね予想通りとなる見込みですが、破碎関連機

械は本体販売時期の遅れなどの影響もあり、予想に対して若干の減収減益となる見込みであります。電子材料事業においては、電子部品向けの高純度無機素材の売上が堅調に推移し、高純度赤燐が計画通り生産を再開したことから、予想通りとなる見込みであります。これらの見通し及び第1四半期累計期間の進捗状況を踏まえ、2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。

(通期)

2023年3月期通期の業績は、化成品事業において、引き続き半導体向け高純度燐酸は国内外共に順調に推移すると予想しておりますが、原材料価格の上昇や減価償却費の増加などのコストアップを見込んでおります。機械事業においては、下水道関連の掘進機は、新型コロナウイルス感染に伴う渡航制限の影響もあり海外向けの販売は引き続き低迷するものと見込んでおります。一方、破碎関連機械は、プラント工場の売上が増加する見込みであります。電子材料事業においては、ガリウムなど高純度無機素材の需要が引き続き堅調に推移すると見込んでおります。これらの見通し及び第1四半期累計期間の進捗状況を踏まえ、2023年3月期通期の業績予想を修正いたします。

(注)上記の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以上